

平成 30 年度 第 1 回 産業医科大学倫理委員会議事抄録

- 1 日 時 平成 30 年 4 月 6 日 (金) 13 : 30 ~ 16 : 00
- 2 場 所 1609 会議室
- 3 出席者 学内 : 藤野(昭)、中山、原田、足立、矢寺、阿南、庄司、長野、藤野 (善)、檜本
学外 : 櫻井、安元、田中、小川
欠席者 学内 : 齋藤、藤木
学外 : なし

4 報告事項等

- (1) 平成 29 年度第 12 回産業医科大学倫理委員会議事抄録 (案) について
藤野(昭)委員長から、資料に基づき提案があり、審議の結果、原案どおり承認された。
- (2) 平成 29 年度第 12 回倫理委員会専門委員会 (持ち回り) について
倫理委員会藤野(昭)委員長から、審査結果について、資料に基づき、次のとおり報告があった。
1) 変更申請 4 件について、指摘事項等を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で承認することとした。
- (3) 平成 29 年度第 12 回迅速審査小委員会 (持ち回り) について
中山委員長から、3 件の審査結果について、委員の指摘事項等に関する研究実施責任者の対応及び修正内容について委員長が確認したので、承認することとした、その内容は資料のとおりであるとの報告があった。
- (4) モニタリング担当者指名について、モニタリング報告書 (研究開始前) について
藤野(昭)委員長から、資料に基づき報告があり、承認された。

H29-237

研究課題名 : 2 型糖尿病患者における心血管リスク因子回避に関するダバグリフロジン VS シタグリプチンの有効性の検討 (DIVERSITY-CVR study)

実施責任者 : 医学部 第 1 内科学 准教授 岡田 洋右

モニタリング担当 : データマネジメント及びモニタリンググループ (高山 大記)
医学部 第 1 内科学 助教 岩田 慈

- (5) 平成 29 年度第 2 回「人を対象とする医学系研究倫理に関する講習会」について
藤野(昭)委員長から、平成 30 年 3 月 23 日及び 27 日に同一内容で開催し、参加者は 289 名及び 248 名合計 537 名であったこと、当該講習会を録画した DVD による講習会を 4 月 25 日及び 26 日開催予定であるとの説明があった。

5 審議事項等

- (1) 平成 30・31 年度産業医科大学倫理委員会の組織について
藤野(昭)委員長から、資料に基づき提案があり、原案どおり承認された。
- (2) 平成 30 年度倫理委員会開催日程 (案) について
藤野(昭)委員長から、資料に基づき提案があり、原案どおり承認された。

6 研究倫理審査

(1) 新規申請

- ① 実施責任者：産業医科大学病院 腎センター 副部長・講師 宮本 哲
研究課題名：持続的血液濾過透析における溶質クリアランスの検討
審査要旨：事前審査の指摘事項に加え、以下の指摘事項があり、審査の結果、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

長期保管に関する同意書が必要である。

- ② 実施責任者：産業医科大学病院 腎センター 副部長・講師 宮本 哲
研究課題名：腹膜透析患者の体液貯留におけるアクアポリンの関与
審査要旨：事前審査の指摘事項に加え、以下の指摘事項があり、審査の結果、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

参加者の方（患者さん・または代諾者の方）への説明文書

4. 研究の背景・目的・意義

12行目から14行目にかけて、意味不明であり、言葉を追加し、修正が必要である。

- ③ 研究責任者：産業医科大学病院 眼科 助教 奥 一真
研究課題名：緑内障患者におけるFVS (Functional Vision Score)による評価
審査要旨：事前審査の指摘事項に加え、以下の指摘事項があり、審査の結果、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

5. 実施計画 5) 方法 c) 統計解析方法

具体的な記述が必要である。

12. 対象者から採取した生体試料及び個人情報の取扱い 2) 廃棄方法

利用の拒否の申し出があった場合の対応についての記述を追加する。

オプトアウトのための情報公開文書

5. 研究の目的

1行目『本研究は鈴木眼科との共同研究です』は誤りであり、削除する。

人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に従って情報が提供されることがわかるよう、本学の様式『他の研究機関への新規または既存試料・情報の提供に関する届出書・記録』に準拠した書類の作成を鈴木眼科クリニックに依頼し、それを資料として添付する。

- ④ 研究責任者：産業医科大学病院 臨床検査・輸血部 部長、診療教授 竹内 正明
研究課題名：3次元心エコーによりもとめた右室駆出率の予後予測能は拡張型心筋症患者と虚血性心筋症患者で異なるか？：単施設後ろ向き研究
審査要旨：審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

4. 実施概要 1) 研究の概要

- 誤植がある。 2行目 形態学をしている → 形態をしている
5. 実施計画 5) 方法 c) 統計解析方法
4行目『名義変数はFisherの正確確率検定で行う』は再検討が必要である。
7. 実施事項等における倫理的配慮について 2) 対象者のプライバシー確保に関する対策
(個人情報等の取り扱い方法)
2行目『氏名、住所などの』の前に『研究実施責任者の管理のもと』を追加する。
8. 対象者に生じる利益、負担及び予測されるリスク 2) 負担及び予測されるリスクの総合的評価
1行目から2行目の『提供されるデータは』を削除する。

オプトアウトのための情報公開文書

5. 研究の目的
誤植がある。3行目 形態と呈して → 形態を呈して
9. 問い合わせ先
内線番号だけでなく、代表電話番号を記述する。

- ⑤ 研究責任者：産業医科大学病院 臨床検査・輸血部 臨床検査技師 吉田 大和
研究課題名：大動脈弁狭窄症の重症度評価の検討にコアラボ（拠点施設）は必要か？
審査要旨：審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

5. 実施計画 5) 方法 c) 統計解析方法
主要評価項目に関する統計解析方法の記述がないので、追加する必要がある。
7. 実施事項等における倫理的配慮について 1) 対象者の自由な選択と同意撤回の保障
研究対象者からインフォームド・コンセントを必ずしも受けることを必要としない根拠として、倫理指針の第5章第12-1-(2)-イ-(イ)を挙げているが、先行研究での同意が本研究の目的と相当の関連性があるのかどうか本計画書では記述がないので、第5章第12-1-(2)-イ-(ウ)のほうが妥当ではないか。
8. 対象者に生じる利益、負担及び予測されるリスク 2) 対象者の負担及び予測されるリスク
対象となるデータは本学と他の研究機関の2種類であるので、それぞれについての記述が必要である。
8. 対象者に生じる利益、負担及び予測されるリスク 3) 対象者の負担、予測されるリスクを最小化する対策
匿名化する方法として、安全管理措置を施すことの記述を追加する。
12. 対象者から採取した生体試料及び個人情報の取扱い 1) 保管方法
誰がどこに保管するのか具体的に記述する。
15. 対象者への経済的負担又は謝礼の有無とその内容
『通常の保険診療の範囲内で行われるため』は誤りである。謝礼の有無についての記述を追加する。

オプトアウトのための情報公開文書

タイトル

過去の2つの研究の対象者が本研究の対象となるので、研究課題名の追加が必要であり、『(研究課題名)及び(研究課題名)という研究に参加された』とする。

7. 個人情報の取扱い

1行目の『個人情報』は、『個人情報および臨床データ』とする。

6行目に『研究終了後』が重複している。

再提出に際し、研究実施責任者から委員長に対し、研究内容を見直した結果、解析を行う検者を3人から5人に増員したいとの申し出があった。本件について、委員長が、関係箇所の修正を確認して承認することとした。

- ⑥ 研究責任者：産業医科大学病院 臨床検査・輸血部 臨床検査技師 吉田 大和
研究課題名：圧力回復現象による重症度評価は本邦の大動脈弁狭窄症患者の予後予測に有効か？

審査要旨：審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

7. 実施事項等における倫理的配慮について 1) 対象者の自由な選択と同意撤回の保障

研究対象者からインフォームド・コンセントを必ずしも受けることを必要としない根拠として、倫理指針の第5章第12-1-(2)-イ-(イ)を挙げているが、先行研究での同意が本研究の目的と相当の関連性があるのかどうか本計画書では記述がないので、第5章第12-1-(2)-イ-(ウ)のほうの方が妥当ではないか。

8. 対象者に生じる利益、負担及び予測されるリスク 2) 対象者の負担及び予測されるリスク

対象となるデータは本学と他の研究機関の2種類であるので、それぞれについての記述が必要である。

12. 対象者から採取した生体試料及び個人情報の取扱い 1) 保管方法

誰がどこに保管するのか具体的に記述する。

19. 緊急時の連絡先

代表電話番号の記述を追加する。

オプトアウトのための情報公開文書

7. 個人情報の取扱い

1行目の『個人情報』は、『個人情報および臨床データ』とする。

- ⑦ 研究責任者：医学部 精神医学 助教 井形 亮平
研究課題名：就労中の注意欠如・多動性障害 (Attention Deficit Hyperactivity Disorder : ADHD) 患者においてアトモキシセチンが presenteeism や作業生産性に与える影響

審査要旨：以下の指摘事項があり、審査の結果、「継続審査」とする。

[指摘事項]

- ・研究対象者のうち対照群 (未治療群) 50 例が、この募集方法で集まるのか疑問である。後ろ向きに検討するという方法について検討してはどうか。
- ・企業に参加していただき、大規模に行う方法もあるのではないか。
- ・未治療群に対して、研究終了後にアトモキシセチン投与による治療等の対応が必要ではない

か。

- ・40万円分の謝礼を研究費から支出することは、困難ではないのか。
- ・参加者の方への説明文書は、患者の立場にたった記述内容に大幅に修正する必要がある。

- ⑧ 研究責任者：医学部 公衆衛生学 講師 久保 達彦
研究課題名：熊本地震の災害医療対応を通じて蓄積された J-SPEED 活動日誌データの解析研究
審査要旨：研究実施責任者から都合により取り下げたいとの申し出があったとの説明があり、次回以降の審査とすることが了承された。

- ⑨ 研究責任者：医学部 不整脈先端治療学 教授 安部 治彦
研究課題名：我が国における心臓植込み型デバイス治療の登録調査
-New Japan Cardiac Device Treatment Registry (New JCDTR)-
審査要旨：審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

5. 実施計画 3) 期間

後ろ向き部分の記述内容について誤りがある。研究開始以降の時期が含まれている。

7. 実施事項等における倫理的配慮について 3) 対象者に理解を求め、同意を得る方法 (インフォームド・コンセントの手順)

オプトアウトのための情報公開文書は、本学医学部不整脈先端治療学のホームページにも掲載する必要がある。

10. 侵襲を伴う場合、健康被害に対する補償の有無とその内容

『該当しない』と記述しているが、参加者の方 (患者さん・代諾者の方) への説明文書「20. 侵襲を伴う研究の場合には当該研究によって生じた健康被害に関する補償の有無及びその内容」に記述している内容と矛盾はないか、検討を要する。

12. 対象者から採取した生体試料及び個人情報の取扱い 1) 保管方法

誤植がある。4行目 設錠できる → 施錠できる
保管庫の設置場所の記述が必要である。

参加者の方 (患者さん・代諾者の方) への説明文書

13. 試料・情報の保管及び廃棄の方法

1行目及び4行目の『生体試料』は、『臨床情報』に改める。

オプトアウトのための情報公開文書

タイトルに誤りがある。

他の研究機関への新規または既存試料・情報の提供に関する届出書・記録

2. 確認事項 研究対象者の同意の取得状況等

『2) : 1) によることができない場合 (オプトアウト及び倫理委員会の審査要) (公開要6項目)』も該当する。

2. 確認事項 当施設における通知又は公開の実施の有無等

『通知又は公開+拒否機会の保障 (オプトアウト) を実施 (2) に該当)』も該当する。

- ⑩ 研究責任者：産業生態科学研究所 産業保健経営学 講師 永田 智久
研究課題名：深夜業務従事者における睡眠衛生教育前後での疲労状態および労働機能障害の

評価

審査要旨：審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

5. 実施計画 5) 方法 a) 研究デザイン

本研究は、『記述横断研究』ではなく、『前後比較の介入研究』であるので、修正が必要である。

7. 実施事項等における倫理的配慮について 2) 対象者のプライバシー確保に関する対策 (個人情報等の取り扱い方法)

人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に従って情報が提供されることがわかるよう、本学の様式『他の研究機関への新規または既存試料・情報の提供に関する届出書・記録』に準拠した書類の作成を対象企業に依頼し、それを資料として添付する。

8. 対象者に生じる利益、負担及び予測されるリスク 3) 対象者の負担、予測されるリスクを最小化する対策

誤植がある。3行目 保証する → 保障する

12. 対象者から採取した生体試料及び個人情報の取扱い 2) 廃棄方法

2行目『対応表を含めず』は誤りであり、対応表も廃棄するように修正する。また、研究代表者として、横川産業医が廃棄したことを確認する必要がある、その旨の記述を追加する。

16. 知的財産権の発生について

研究結果のまとめについては著作権も発生するので、『知的財産権が生ずる可能性はない』は誤りであり、修正が必要である。

参加者の方への説明文書

4. 研究の背景・目的・意義

5行目『パフォーマンス』の意味を明確にする必要がある。

誤植がある。6行目 知られていまうす → 知られています

7. 研究対象者に生じる利益、負担および予想されるリスク

誤植がある。9行目 保証されて → 保障されて

13. 試料・情報の保管及び廃棄の方法

同意撤回書の記述内容に合わせ、3行目『直ちに』は、『あなたのご意思を確認した上で』に改める。

⑪ 研究責任者：産業生態科学研究所 産業保健経営学 講師 永田 智久

研究課題名：労働者の健康状態に関する生体指標開発に関する前向き観察研究

審査要旨：審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

3. 実施分担者

頓所つく実の所属職名を平成30年4月付けのものに変更する。

4. 実施概要 2) 研究の目的及び意義

12行目『(Cole et al. 2015 等)』に雑誌名を記述する。

7. 実施事項等における倫理的配慮について 2) 対象者のプライバシー確保に関する対策 (個人情報等の取り扱い方法)

『匿名化した後のデータを、研究実施分担者に共有する』は、具体的な方法の記述が必

要である。

12. 対象者から採取した生体試料及び個人情報の取扱い 2) 廃棄方法
生体試料を廃棄する研究実施分担者が誰なのか、具体的に記述する。
12. 対象者から採取した生体試料及び個人情報の取扱い 3) 二次利用の有無
他の研究目的に使用するための保存期間が、同意書を一致していない。
13. 研究業務の一部を委託する場合の業務内容と監督方法
誤植がある。6行目 訪問に → 訪問し

(2) 新規申請（迅速審査）

- ① 実施責任者：産業医科大学若松病院 麻酔科 助教 濱田 高太郎
研究課題名：前十字靭帯形成術の術後鎮痛における末梢神経ブロックと硬膜外麻酔の効果・副作用の比較検討（後ろ向き）
審査要旨：審査の結果、「承認」とする。
- ② 実施責任者：医学部 第2内科学 助教 岩瀧 麻衣
研究課題名：左室球形化の機序に関する検討：僧帽弁複合体が左室形態に及ぼす影響について
審査要旨：審査の結果、「承認」とする。
- ③ 実施責任者：産業保健学部 広域・発達看護学 教授 松浦 祐介
研究課題名：遠隔再発・遠隔転移を来した子宮間葉系腫瘍の実態調査
審査要旨：審査の結果、「承認」とする。

(3) 変更申請

- ① 実施責任者：産業生態科学研究所 放射線健康医学 教授 岡崎 龍史
研究課題名：放射線教育プログラムによる放射線業務従事者の知識向上と不安低下度の定量的解析
審査要旨：審査の結果、「承認」とする。
- ② 実施責任者：産業保健学部 作業環境計測制御学 教授 宮内 博幸
研究課題名：対光反応解析装置を用いた眼疲労の評価に関する研究
審査要旨：審査の結果、「承認」とする。
- ③ 実施責任者：産業医科大学病院 総合周産期母子医療センター 助教 森 博士
研究課題名：インスリン抵抗性が胎盤栄養素および水銀輸送機能に与える影響の研究
審査要旨：審査の結果、「承認」とする。
- ④ 実施責任者：産業生態科学研究所 産業保健経営学 講師 永田 智久
研究課題名：ICT を活用した腰痛予防対策の効果検証（無作為化比較試験）
審査要旨：審査の結果、「承認」とする。
- ⑤ 実施責任者：産業医科大学 第3内科学 助教 本間 雄一
研究課題名：ジェノタイプ2型C型慢性肝疾患に対する直接作用型抗ウイルス薬による治療効果と、治療効果に影響を及ぼす因子の検討

審査要旨：審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

研究期間について書類間で不一致であるので、修正する。

- ⑥ 実施責任者：産業医科大学 第3内科学 助教 本間 雄一
研究課題名：ジェノタイプ1型C型慢性肝疾患に対する直接作用型抗ウイルス薬による治療効果と、治療効果に影響を及ぼす因子の検討
審査要旨：審査の結果、「承認」とする。
- ⑦ 実施責任者：医学部 呼吸器内科学 講師 川波 敏則
研究課題名：肺胞マクロファージ免疫に着目した肺炎球菌の病原性の解明
審査要旨：審査の結果、「承認」とする。
- ⑧ 実施責任者：医学部 呼吸器内科学 講師 川波 敏則
研究課題名：肺 *Mycobacterium avium* complex 症におけるクリンダマイシンの有効性に関するオープン比較試験
審査要旨：審査の結果、「承認」とする。
- ⑨ 実施責任者：産業保健学部 安全衛生マネジメント学 講師 庄司 卓郎
研究課題名：定性的手法を用いた労働災害防止対策に対する労働者の認識の分析
審査要旨：審査の結果、「承認」とする。
- ⑩ 実施責任者：医学部 第1内科学 教授 田中 良哉
研究課題名：関節リウマチに対するアバタセプトの効果の検討 (ABT-ATS study)
審査要旨：審査の結果、「承認」とする。
- ⑪ 実施責任者：ストレス関連疾患予防センター 特任助教 宮崎 洋介
研究課題名：過重労働による生体影響を反映するバイオリジカルモニタリング指標の探索
審査要旨：審査の結果、「承認」とする。
- ⑫ 実施責任者：医学部 第2内科学 学内講師 岩瀧 麻衣
研究課題名：全身代謝活性が重症大動脈弁狭窄症の心拍出量に与える影響
審査要旨：審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。
[指摘事項]
倫理審査研究計画書
7. 実施事項等における倫理的配慮について 3) 対象者に理解を求め、同意を得る方法 (インフォームド・コンセントの手順)
2 行目 『研究対象者一人一人からの』は、『研究対象者一人一人から文書による』に改める。

IV その他

- (1) 研究終了報告6件、中止報告3件及び進捗状況報告18件が承認された。

<終了報告> 6件

- H28-096 実施責任者：産業生態科学研究所 産業保健経営学 講師 永田 智久
研究課題名：自覚的な労働生産性と客観的指標の相関の検討
- H28-232 実施責任者：医学部 小児科学 学内講師 荒木 俊介
研究課題名：新生児・乳児期に診断された先天性複合型下垂体機能不全の臨床像の検討
- H29-064 実施責任者：産業医科大学病院 臨床検査・輸血部 部長、診療教授 竹内 正明
研究課題名：重症大動脈弁逆流患者における global longitudinal strain による予後予測能に関する検討
- H29-170 実施責任者：産業医科大学病院 臨床検査・輸血部 部長、診療教授 竹内 正明
研究課題名：2次元心エコー図法、3次元心エコー図法およびドプラー法による一回拍出量計測の違いが大動脈弁狭窄症の重症度評価に及ぼす影響についての検討
- H29-173 実施責任者：医学部 小児科学 学内講師 荒木 俊介
研究課題名：2015-2016年シーズンにおける福岡県内のパリビズマブ接種の現状調査
- H29-185 実施責任者：産業医科大学病院 眼科 助教 奥 一真
研究課題名：Swept source OCT en face 画像を用いた黄斑硝子体界面症候群術後の DONFL 所見の検討

<中止報告> 3件

- H28-129 実施責任者：医学部 第2内科学 学内講師 荻ノ沢 泰司
研究課題名：中等度のQRS幅の拡大を認める左脚ブロック症例に対するaCRT（洞調律時の右室センシングイベントに自動同期した左室単独ペーシングアルゴリズム）を用いた心臓再同期療法に関する医師主導型臨床研究
- H28-212 実施責任者：医学部 小児科学 学内講師 荒木 俊介
研究課題名：NICUに入院している新生児に対する痛みのケアの有効性についての研究
- H28-240 実施責任者：医学部 脳神経外科学 教授 西澤 茂
研究課題名：Reveal LINQ レジストリ研究 潜因性脳塞栓症の原因解明

<進捗状況報告> 18件

- H28-072 実施責任者：医学部 小児科学 学内講師 荒木 俊介
研究課題名：障がいを持つ小児の家庭における保護者の就業状況の調査
- H28-081 実施責任者：産業生態科学研究所 産業保健経営学 講師 永田 智久
研究課題名：一般就労者における注意欠如多動性障害の傾向と労働生産性に与える影響の検討
- H28-088 実施責任者：医学部 小児科学 学内講師 荒木 俊介
研究課題名：乳幼児期の成長障害・肥満形成における腸内細菌叢の関与についての研究
- H28-089 実施責任者：医学部 小児科学 学内講師 荒木 俊介
研究課題名：周産期母子医療センターネットワークデータベースへの情報提供

- H28-213 実施責任者：医学部 小児科学 学内講師 荒木 俊介
研究課題名：新生児・乳児期早期からの身近な樹脂原料への複合曝露が子どもの疾病へ与える影響についての研究
- H28-214 実施責任者：医学部 小児科学 学内講師 荒木 俊介
研究課題名：新生児集中治療における虚血再灌流障害及び線維化に関連する新たなバイオマーカーの研究
- H28-234 実施責任者：医学部 小児科学 学内講師 荒木 俊介
研究課題名：先天性甲状腺機能低下症の病型診断についての後方視的検討
- H29-023 実施責任者：産業生態科学研究所 産業保健経営学 講師 永田 智久
研究課題名：産業医活動の有効性に関する政策評価研究
- H29-047 実施責任者：産業生態科学研究所 産業保健経営学 講師 永田 智久
研究課題名：職域における個別睡眠衛生教育が睡眠の改善や労働生産性に与える影響に関する無作為化比較試験
- H29-048 実施責任者：産業保健学部 作業環境計測制御学 教授 宮内 博幸
研究課題名：対光反応解析装置を用いた眼疲労の評価に関する研究
- H29-106 実施責任者：医学部 小児科学 学内講師 荒木 俊介
研究課題名：新生児低体温療法レジストリーによる我が国の新生児蘇生法ガイドラインの普及と効果の評価に関する研究
- H29-132 実施責任者：産業生態科学研究所 産業保健経営学 講師 永田 智久
研究課題名：企業における健康施策決定プロセスと労働者の健康施策ニーズの把握方法に関する実態調査
- H29-140 実施責任者：産業生態科学研究所 産業保健経営学 講師 永田 智久
研究課題名：ICT を活用した腰痛予防対策の効果検証（無作為化比較試験）
- H29-141 実施責任者：産業生態科学研究所 産業保健経営学 講師 永田 智久
研究課題名：注意欠如多動性障害を有する労働者に対する産業保健スタッフ向けの支援方法開発
- H29-148 実施責任者：医学部 小児科学 学内講師 荒木 俊介
研究課題名：カルシウム代謝異常・リン代謝異常・骨疾患の遺伝学的解析
- H29-159 実施責任者：医学部 小児科学 学内講師 荒木 俊介
研究課題名：Small for gestational age (SGA) 性低身長児に対する成長ホルモン補充療法の現状及び SGA 児の内分泌学的特徴についての研究
- H29-174 実施責任者：医学部 小児科学 学内講師 荒木 俊介
研究課題名：新生児集中治療室 (NICU)における監視培養および培養結果活用の実態調査
- H29-189 実施責任者：医学部 小児科学 学内講師 荒木 俊介
研究課題名：新生児希有疾患サーベイランス「新生児 HLH」「新生児ヘモクロマトーシス」